

※生育状況などにより変更の可能性あり。そのほか、当番制で水やりなどの管理作業日あり。

●**ところ** アグリライフ支援センター研修室・敷地内実習園

●**内容** 座学↓野菜栽培の基礎知識、病虫害防除、作付計画・施肥設計などについての講義実習↓1人当たり約30㎡の実習園にて、秋冬野菜(キャベツ・ハクサイ・ブロッコリー・ホウレンソウ・ニンジン・ダイコンなど10品目程度)の栽培、農具などの扱い方の実習

●**対象** 市内在住で野菜の栽培技術の基礎を学びたい人

※畑の管理作業に耐えられる人。

●**定員** 30人

※定員を超えた場合は7月24日(金)午前10時から同センターにて公開抽せん。結果は7月31日(金)までに申込者へ通知。

●**受講料** 1万5000円(種苗代、傷害保険料などを含む)

※納入は開講式当日。

●**持ち物** 作業着・帽子・長靴・軍手・雨具・水分補給用の飲み物など

※使用する農機具類、種苗などは同センターで用意します。

●**申し込み** 6月22日(月)～7月17日(金)に受講申込書に必要事項を記入し、農務課・同センターへ。



①市民が「農」を楽しむまちづくりを目指す「安城アグリライフ構想」を総合的に推進する拠点

②「農」のある暮らしを实践する人材育成の場

この2点を柱に設立したアグリライフ支援センターでは、現在、第1期の野菜づくり「入門コース」の開講に向けて、準備を進めています。

このコースは、「家庭菜園などでの野菜づくりの基礎を学びたい」という、初心者向けの内容

アグリライフ支援センターでは

●**とき** 8月～来年1月の6か月間 開講式↓8月26日(火) 座学↓毎月1回程度 実習↓毎週(火)・(木)または(火)・(金)の組み合わせで週2回。いずれも午前9時～11時30分。

野菜づくり「入門コース」第1期生募集

です。実習で収穫した野菜は持ち帰ることができます。

事前に見学を希望する人は、現地にて案内しますので、同センターまでおたずねください。また、半年間の研修終了後、希望者には市民農園のあっせんもします。



スポット講座のご案内

同センターでは、野菜づくり「入門コース」以外に、スポット講座として、今年度は9月中旬に「野菜のプランター栽培」、9月初旬・11月下旬に親子で楽しめる「ジャガイモの植付・収穫体験」を実施します。

詳しい内容についてはその都度、本紙・市公式ウェブサイトに掲載し、募集をしていきます。





農園利用者
堀三恵さん
(桜井町)

子どもが小さいので、この農園での体験を通して、少しでも「作物が育つ」ということを知ってくれたら良いと思いました。これまで農業の経験はありませんでした。土が固く、耕すのが大変でしたが、夫の手を借りてできました。耕運機の使い方一つにしても、やはり初めてのことは難しく、勉強になります。ここは、道具の置き場所はあるし、いろいろ教えてもらって、助かります。今では野菜づくりが家族の楽しみになっています。



農園利用者
加藤寛子さん
(桜井町)

食生活にこだわりを持って、楽しく生きたい。そう思った時、野菜づくりは原点に返ることだと思い、始めました。つくりたい野菜はみんな希望を出せます。農園主の川澄さんが、きめ細かく見てくれて、不安もなく続けていられることに感謝しています。このように指導つきの市民農園に出会わなかったら、一人ではできなかったかもしれないですね。農園に来ると近所の人とも仲良くなれるし、何より、一つひとつが新鮮です。これは経験しないと分からないでしょうね。

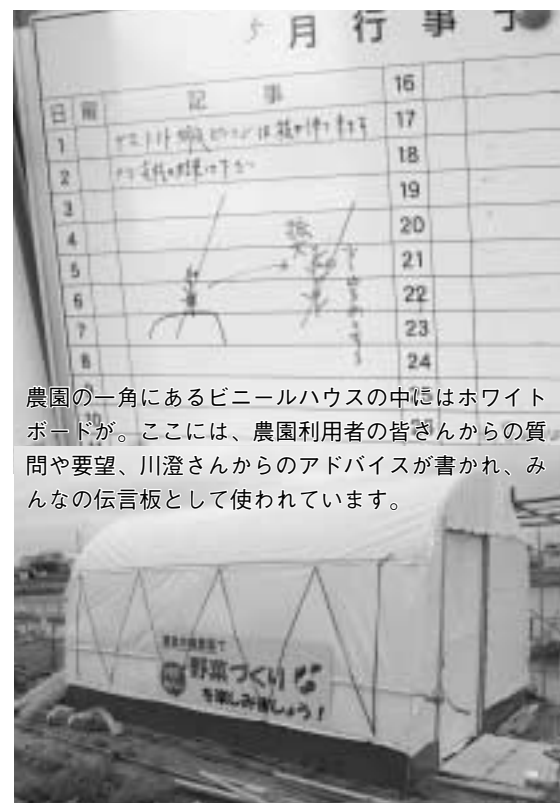


農園利用者
内田利郎さん
あい子さん
(堀内町)

土いじりは以前から好きだったのですが、野菜づくりは初めてです。ピーマン・トマト・ラディッシュなどなど、10種類以上の野菜を育てています。挑戦したニューメロンは一度枯らしてしまいましたが、現在はタイガーマロンづくりに力を入れています。それと、お花も少し。つくり始めたころから、写真を撮って、簡単なメモ書きと一緒に記録を付けています。毎日の成長を見るのがとても楽しいです。できてすぐに食べられる。安心して食べられるのがいいですね。収穫の時は孫たちも連れてきたいと、頑張っています。



取材中も病気になってしまったズッキーニを指導。



農園の一角にあるビニールハウスの中にはホワイトボードが。ここには、農園利用者の皆さんからの質問や要望、川澄さんからのアドバイスが書かれ、みんなの伝言板として使われています。



市民農園農園主
川澄明旺さん
(桜井町)

まちづくりの観点から、自分から市民農園を提案しました。農園を通して地元に触れてもらえる機会もできるし、楽しんでもらえるのではないかと。すぐに計画実行とはいきませんが、昨年の末ころから土地を整備。4月から実際に農園の野菜づくりが始まりました。資材などは市からの補助金もありますし、以前から使っていた耕運機など道具もそろっています。気をつけているのは、種や苗の作付けに、旬の野菜を選んでいること。また、区画の近くに、わたしもたくさん野菜を育てています。これらを見ながら、皆さんが自分の野菜づくりの参考にしてみてください。そして、環境にも気遣いを。1区画に1個、コンポストを置いていきます。少しでも生ごみの削減になるし、肥料も作れて土に良いです。そのほか、指導は別として、収穫を楽しみにしているものがあります。ネギやトウモロコシを植えて、食材の足しにしてもらったり、バーベキューを計画したりしています。

市民農園の
利用者を募集



市では、「市民が農を楽しむまちづくり」を進めるため、市内各所に農家や農協が経営主体となった市民農園の整備を進めています。この農園では、農具や野菜の種苗・肥料などを農園主側で用意し、定期的に栽培指導もしますので、初心者でも手軽に野菜づくりを楽しむことができます。現在は桜井町地内に、1区画30㎡の市民農園があり、市内在住の6人が登録しています。今

回はその中の3人に市民農園を始めたきっかけや、これまでの感想を聞きました。皆さん農業は初体験なのだそうですが、日々、野菜づくりを楽しんでいる様子がうかがえました。土に触れ合いながら、安全・安心なおいしい野菜づくりに、あなたもチャレンジしてみませんか。



申し込み・問い合わせ

アグリライフ 支援センター	〒446-1201石井町辻原131-2 (旧JAあいち中央石井支店)
	☎<92>6200
	FAX<92>6122
	Eメール agrilife@city.anjo.aichi.jp
農務課	☎<71>2233